



【基礎編】

◇人権感覚を研ぎ澄ますために

すべての人の人権が尊重される社会をつくるためには、個別の課題についての知識や理解を深めるだけでなく、「自分の大切さ」と「他の人の大切さ」を認められるよう、人権感覚を研ぎ澄ますことが大切です。



◇差別や偏見をなくすために

私たちの周りには、さまざまな情報があふれています。一部の情報に影響されて、根拠のない理由や固定観念で物事を判断し、差別や偏見につながる行動やものの考え方をしていることはないでしょうか。日々の生活の中で、一人ひとりがしっかり考え、情報を正しく判断することが大切です。



◇一人ひとりが大事な存在であると感じられる場面をつくりましょう

急激な社会の変化の中で、なかなか自分の存在価値がつかめず、自分に自信をもてないことが多くあります。自分自身が自分を受け入れられなければ、他の人のことを尊重して受け入れることは難しいといえます。多くの研究結果から、自分が大事にされていると感じられる人ほど、他の人も大事にできるといことがわかっています。人との関わりの中で、だれもがかけがえのない大切な存在として認められていることが実感できる場面づくりが大切です。

◇見方を変える力と想像力を高めましょう

事実は同じでも、受け止め方は人によってさまざまです。たとえば、厳しい差別の中から人権を獲得してきた人々の歴史を見ると、「差別をされてきたかわいそうな人たち」ととらえるのか、「不当な差別と闘い人間らしさを求めてきた人たち」ととらえるのかによって、イメージは全く違ってきます。

また、相手の気持ちを理解するための想像力も大切です。想像力が豊かであれば、差別された人の痛みに共感し、差別をなくそうという態度につながるのではないのでしょうか。

さまざまな角度から物事を見る力と、他の人の気持ちに共感できる想像力を高めることが求められます。

◇お互いに気持ちをわかりあうための能力を高めましょう

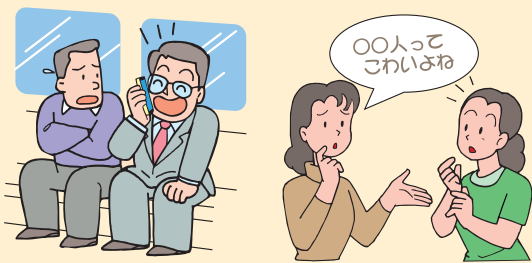
自分の気持ちをうまく相手に伝えることは、意外と難しいものです。自分の思いを素直に伝えたつもりでも、自分の思っていたことがうまく伝わらなかったり、結果的に相手にいやな思いをさせたりしていることがあります。反対に、他の人から言われたことで自信をなくしたり、傷ついたりすることもあります。相手を攻撃することなく自分の主張を伝えることは、豊かな人間関係を築くための大切な能力のひとつです。

お互いに気持ちを分かりやすく相手に伝え、わかりあうためのコミュニケーションの能力を高めることが求められます。

例 こんなとき、どう言えばいいでしょう？

◆電車の中で大きな声で電話をしている人がいたとき

◆友人との会話の中で「〇〇人ってこわいよね」という話を聞いたとき



◇ステレオタイプ

「滋賀県人は〇〇」、「血液型が〇〇の人は△△」などと、ある一定のグループについて描く型にはまった画一的なイメージのことを「ステレオタイプ」といいます。しかし、同じ血液型の人にもいろいろな性格の人はいますし、滋賀県の人すべてが同じようなものの考え方や行動パターンを持っているわけではありません。また、根拠のないうわさやある一部の人を見て、「この地域(の人)は〇〇」、「□□国の人△△だ」などと勝手に決めつけて判断することは、差別や偏見につながることとなります。ステレオタイプで判断することなく、一人の人間として尊重する態度が大切です。

グループでやってみましょう

① カードに次のような文の()に自分が思うことを書いてみましょう。

★ は、()だ。
(※ には、子ども・女性・日本人・外国人などを入れてみましょう)

② 他の人の書いたカードと交換して、その文の後に次の2つの文をつなげてみましょう。

★ 私は、 です。
★ だから私は、()です。

例 ★ 子ども は、(わがママ)だ。
★ 私は、 子ども です。
★ だから私は、(わがママ)です。

■ このような見方をどう思いますか。また、どうしてこのような見方が生まれたのか、話し合ってみましょう。

◇風習・迷信

「昔からそうだから」、「みんながそう言う(している)から」という理由だけで私たちの行動を制限している風習や迷信は、今も残っています。たとえば、結婚式は大変に、葬式は友引を避けて、〇〇は縁起が悪い・・・などというように何をの疑いも持たずに信じて、知らず知らずに制約を受けたり、特定のものや人を遠ざけたりしていることはないでしょうか。また、間違っていると思っけても、「自分だけ反対しても仕方がない」としてそのままにしておくことで、差別を残したり助長したりしていることはないでしょうか。

合理的な根拠がないだけでなく、特定のものや人を遠ざけようとする風習や迷信がそのままにされていないか、そのことによって偏見や差別につながっていることはないか、今一度考えてみるのが大切です。

あなたの周りで、どんな風習や迷信がありますか？ またそのことをどう思いますか？

その理由についても考えてみましょう。

● 日常生活の中で不合理や矛盾を感じたことはありませんか？